

2018/12/19 第3回推進委員会資料

## 学校配置案における学校数(案)と地域協議における留意事項等

## 1 地域ブロックごとの学校数(案)

地域ブロック	小学校数	中学校数
中央地域ブロック	6校 ( △ 3校)	3校 ( — )
東部地域ブロック	5校 ( △ 2校)	3校 ( △ 2校)
西部地域ブロック	3校 ( △ 2校)	2校 ( △ 2校)
南部地域ブロック	5校 ( △ 1校)	3校 ( — )
北部地域ブロック	6校 ( △ 4校)	3校 ( △ 2校)
河辺地域ブロック	1校 ( △ 2校)	1校 ( △ 1校)
雄和地域ブロック	1校 ( — )	1校 ( — )
秋田市合計	27校 (△ 14校)	16校 ( △ 7校)

( )は現在から減少する学校数

## 2 地域協議における留意事項等 (総括的事項)

- (1) 学校配置案に示す地域ブロックごとの学校数は、上限の数であることから、児童生徒数の動向等に応じて上限よりも少ない学校数での統合の可能性も視野に入れ、検討を進めていくこととする。
- (2) 学校統合の方向性(組み合わせ)の協議にあたっては、小学校と中学校の学習面、生活面の連携を一層強化するとともに、学校と家庭、地域が協力して魅力ある学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入を踏まえ、小・中学校の接続関係をより明確化するため、1つの小学校から同一の中学校に進学できるような学校配置のあり方を検討する。  
そのため、学校統合の方向性(組み合わせ)は、まず中学校を優先して検討することとし、その後、中学校に接続する小学校の組み合わせを検討することを基本とする。
- (3) 学校統合の方向性(組み合わせ)の協議にあたっては、各学校の施設や学区の状況、通学の実情などを把握したうえで課題と対応を整理していく必要がある。

### 3 地域ブロック別の児童生徒数の状況と留意事項等

注) 各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

#### 1 中央地域ブロック

##### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	保戸野小学校	287	269	237	-17.4%	227	144
	築山小学校	482	442	386	-19.9%	370	234
	旭北小学校	361	306	273	-24.4%	261	166
	中通小学校	231	219	207	-10.4%	198	125
	旭南小学校	415	352	348	-16.1%	334	211
	川尻小学校	530	534	529	-0.2%	507	320
	八橋小学校	484	425	415	-14.3%	397	251
	泉小学校	593	523	486	-18.0%	466	294
	寺内小学校	403	387	323	-19.9%	311	195
	合計	3,786	3,457	3,204	-15.4%	3,071	1,940
中学校	秋田南中学校	500	418	344	-31.2%	330	208
	山王中学校	686	610	544	-20.7%	521	329
	泉中学校	767	690	629	-18.0%	604	381
	合計	1,953	1,718	1,517	-22.3%	1,455	918

##### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 9校	中学校	(現行) 3校
	↓ <b>6校</b>		↓ <b>3校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

##### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①保戸野小と旭南小は、現在、進学先の中学校が2つに分かれているため、1つの小学校から同一の中学校に進学できるよう、検討が必要である。
- ②保戸野小には、東部地域ブロックの秋田東中が指定校となる学区の区域があるため、通学の実情や接続関係を踏まえ、学区の見直しが検討課題となり得る。
- ③中央地域ブロックは、比較的小さなエリアである一方、市街地であることを踏まえ、小学校の配置と学区のあり方について検討が必要である。
- ④将来の中学校数は現行と同じ3校であるが、生徒数の動向によっては適正規模を下回る学校が生じる可能性もあることから、注視していく必要がある。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

## 2 東部地域ブロック

### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	明德小学校	303	280	207	-31.7%	198	126
	旭川小学校	607	535	539	-11.2%	517	325
	広面小学校	568	567	559	-1.6%	535	339
	太平小学校	99	65	36	-63.6%	36	22
	下北手小学校	141	132	93	-34.0%	89	55
	東小学校	509	478	482	-5.3%	463	293
	桜小学校	843	911	953	13.0%	913	579
	合計	3,070	2,968	2,869	-6.5%	2,751	1,739
中学校	秋田東中学校	529	477	458	-13.4%	440	277
	太平中学校	47	43	24	-48.9%	24	14
	下北手中学校	69	68	31	-55.1%	30	19
	城東中学校	545	496	495	-9.2%	475	299
	桜中学校	431	425	446	3.5%	428	270
	合計	1,621	1,509	1,454	-10.3%	1,397	879

※太平小の2008年には旧山谷小35人を含む

### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 7校	中学校	(現行) 5校
	↓ <b>5校</b>		↓ <b>3校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①明德小の学区には、秋田市総合計画の地域区分で中央地域である区域があるため、東部地域ブロックにおける検討とともに、中央地域ブロックの検討を踏まえた学区の見直しが検討課題となり得る。
- ②太平小は、複式学級がある小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ③太平中と下北手中は、1学年に1学級の小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ④東部地域ブロックは広域なエリアであることから、通学距離・時間に応じた通学のあり方について検討が必要である。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

### 3 西部地域ブロック

#### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	日新小学校	973	891	831	-14.6%	796	503
	勝平小学校	794	729	646	-18.6%	620	391
	浜田小学校	123	85	57	-53.7%	57	33
	豊岩小学校	66	48	44	-33.3%	44	27
	下浜小学校	98	67	50	-49.0%	50	29
	合計	2,054	1,820	1,628	-20.7%	1,567	983
中学校	秋田西中学校	586	546	453	-22.7%	435	274
	豊岩中学校	29	34	26	-10.3%	26	16
	下浜中学校	49	45	27	-44.9%	26	16
	勝平中学校	368	380	308	-16.3%	295	187
	合計	1,032	1,005	814	-21.1%	782	493

※勝平小、勝平中には千秋分校の児童生徒は含まない

#### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 5校	中学校	(現行) 4校
	↓ <b>3校</b>		↓ <b>2校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

#### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①浜田小、豊岩小、下浜小は、複式学級がある小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ②将来の小学校数は3校であるが、大規模校と小規模校が存在している実情を踏まえ、上限を下回る学校数での学校配置について、特に考慮すべきである。
- ③豊岩中と下浜中は、1学年に1学級の小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ④西部地域ブロックは広域なエリアであることから、通学距離・時間に応じた通学のあり方について検討が必要である。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

#### 4 南部地域ブロック

##### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	牛島小学校	514	509	378	-26.5%	362	229
	仁井田小学校	739	615	571	-22.7%	547	346
	四ツ小屋小学校	352	284	273	-22.4%	261	166
	上北手小学校	168	159	232	38.1%	223	141
	大住小学校	765	631	533	-30.3%	512	324
	御所野小学校	668	621	621	-7.0%	595	375
	合計	3,206	2,819	2,608	-18.7%	2,500	1,581
中学校	城南中学校	715	626	514	-28.1%	493	312
	御野場中学校	651	623	495	-24.0%	474	299
	御所野学院中学校	420	342	251	-40.2%	240	152
	合計	1,786	1,591	1,260	-29.5%	1,207	763

##### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 6校	中学校	(現行) 3校
	↓ <b>5校</b>		↓ <b>3校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

##### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①上北手小は、学区内の宅地開発により児童数が増加している状況であるものの将来的には児童数が減少することが見込まれていることから、これを踏まえた学校配置を検討する必要がある。
- ②将来の中学校数は現行と同じ3校であるが、生徒数の動向によっては適正規模を下回る学校が生じる可能性もあることから、注視していく必要がある。  
その際には、中高一貫校として特認校制度を適用している御所野学院中の扱いも考慮すべきである。
- ③南部地域ブロックは比較的広域なエリアであることから、通学距離・時間に応じた通学のあり方について検討が必要となる可能性がある。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

## 5 北部地域ブロック

### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	土崎小学校	243	220	210	-13.6%	202	128
	港北小学校	716	666	566	-20.9%	543	343
	土崎南小学校	288	278	281	-2.4%	269	170
	高清水小学校	384	345	280	-27.1%	268	169
	外旭川小学校	640	581	535	-16.4%	512	324
	飯島小学校	587	519	487	-17.0%	468	295
	下新城小学校	148	123	133	-10.1%	127	81
	上新城小学校	39	25	20	-48.7%	20	12
	金足西小学校	191	189	172	-9.9%	166	104
	飯島南小学校	546	443	416	-23.8%	398	252
	合計	3,782	3,389	3,100	-18.0%	2,973	1,878
中学校	土崎中学校	493	474	445	-9.7%	427	269
	外旭川中学校	276	287	254	-8.0%	244	154
	秋田北中学校	269	283	275	2.2%	264	167
	将軍野中学校	399	374	295	-26.1%	283	179
	飯島中学校	575	485	324	-43.7%	310	197
	合計	2,012	1,903	1,593	-20.8%	1,528	966

※下新城小の2008年には旧金足東小14人を含む

※飯島中の2008年には旧上新城中38人を含む

### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 10校	中学校	(現行) 5校
	↓ <b>6校</b>		↓ <b>3校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①飯島小は、現在、進学先の中学校が2つに分かれているため、1つの小学校から同一の中学校に進学できるよう、検討が必要である。
- ②上新城小は、複式学級がある小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ③北部地域ブロックは広域なエリアであることから、通学距離・時間に応じた通学のあり方について検討が必要である。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

## 6 河辺地域ブロック

### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	岩見三内小学校	90	65	49	-45.6%	49	30
	河辺小学校	231	203	178	-22.9%	171	107
	戸島小学校	108	85	74	-31.5%	72	45
	合計	429	353	301	-29.8%	292	182
中学校	岩見三内中学校	56	38	32	-42.9%	31	20
	河辺中学校	176	147	138	-21.6%	132	83
	合計	232	185	170	-26.7%	163	103

※河辺小の2008年には旧赤平小22人を含む

### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 3校	中学校	(現行) 2校
	↓ <b>1校</b>		↓ <b>1校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①河辺地域ブロックは、小・中学校とも将来の学校数は1校とするため、これを踏まえた学校配置を検討する必要がある。
- ②岩見三内小と戸島小は、複式学級がある小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ③岩見三内中は、1学年に1学級の小規模校であるため、早期の対応が必要である。
- ④河辺地域ブロックは広域なエリアであることから、通学距離・時間に応じた通学のあり方について検討が必要である。

注)各校の2040年の児童生徒数は、人口ビジョン目標と社人研推計に基づき学校適正配置推進室が試算した推計値である。

## 7 雄和地域ブロック

### (1) 児童生徒数の推移と今後の見込み

(単位：人)

区分	学校名	2008年	2013年	2018年	対2008 増減率	2040年	
						人口ビ	社人研
小学校	雄和小学校	303	264	180	-40.6%	173	109
	合計	303	264	180	-40.6%	173	109
中学校	雄和中学校	179	132	96	-46.4%	92	59
	合計	179	132	96	-46.4%	92	59

※雄和小の2008年と2013年は旧4小の児童の合計である

### (2) 将来の学校数(案)

小学校	(現行) 1校	中学校	(現行) 1校
	↓ <b>1校</b>		↓ <b>1校</b>

※小・中学校とも将来の学校数は上限である。

### (3) 地域協議における留意事項等(案)

- ①雄和地域ブロックは、小・中学校ともすでに将来の学校数である1校となっていることから、直ちに地域協議を行う必要性はない。
- ②旧4小の統合による雄和小の設置は、他の地域ブロックにおける先行事例となるものであり、統合の検討経緯や統合後の取組などを参考とすべきである。